

2017年度 小教区評議会役員交流会【報告】

- テーマ：自分たちの教会（共同宣教司牧）を『見る』
- 目的：自分たちの教会を具体的に、共同宣教司牧の観点から振り返ることにより、教会への理解を深め、目指すべき教会の在り方に近づくためにどのようなことが必要かを考える機会とする
- 対象：ブロック担当司祭、協力司祭、宣教司牧協力者、小教区評議会役員
- 日時：2017年9月2日（土） 10：30～15：15
- 場所：カトリック京都司教区 河原町教会・ヴィリオンホール
- 参加人数：85名（信徒72名、司祭10名、修道者3名）

- 内容：午前：大塚司教によるアンケート回答の講評
 モデラートルによる「1.ブロック司牧者チーム」についての発表
 グループでの話し合い①
 午後：グループでの話し合い②
 全体会

アンケート回答の講評要約（大塚司教）

5月の役員研修会は『教会を見る』というテーマであったので、今回は事前アンケートによって自分たちの教会やブロックを具体的に、共同宣教司牧の動きやあり方の観点から「見て」もらうことにしました。京都教区は2000年から共同宣教司牧になり今年で17年目を迎えますが、各小教区からのアンケート回答を見て、まず「この17年の共同宣教司牧の実り」というものを感じました。役員の方々がこのアンケートの質問の意味を理解し、それに該当する活動を類推し、適切な形で回答できるというところまで成熟してきたということであり、アンケートによく答えられているということ自体が、京都教区全体の各ブロックの共同宣教司牧が充実して動いていることを表しており、とても頼もしく思いました。

モデラートルによる「1.ブロック司牧者チーム」についての発表 →別紙参照

グループでの話し合いのテーマ

- 11:40-12:40 アンケート「1.ブロック司牧者チーム」発表を踏まえ、自分の教会の回答を振り返って、以下のことをどう見るか？
1. ブロック司牧者チームと評議会役員との関係
 2. 共同宣教司牧であるために司祭が時間を多くとることができないこと
- 13:30-14:30 アンケート「2.共同体の意思決定と情報共有」の回答をグループ内で発表し合う。以下のことをどう見るか？
1. 共同体の意思決定のプロセスや意見交換・意見集約、情報の共有について、機能している理由は何か？
 2. さらに、その方法や内容について課題や改善できる点はないか？

振り返りと来年以降の導入〔一部抜粋〕（一場神父）

今日はアンケートとグループでの話し合いによって教会の現実を見て、率直に現状を話したり、難しいことがあってもそれを良い方向へ持っていっている実践例を分かち合ったり、これからこうしたいという思いを分かち合ってもらいました。そこでキーワードとなるのは「信頼関係」ではないかと思います。現在も役員さん同士、また司牧者チームと信頼関係を築こうと努力されていると思いますが、難しい課題があってもそれを前向きにとらえ、互いに信頼して任せたり、同じ信仰を信じて同じものを目指している者として、同じ歩みを続けていくことができると信じていきたいと思います。

来年の役員研修会・交流会のテーマは「共同体作り」です。アンケート回答にあるようなミサ後のコーヒーカーナーなど、そのような分かち合いが共同体作りにつながっていきます。また教会から離れている信徒や外国籍の信徒とのかかわりについても一緒に考えていきたいと思います。そして共同体作りとつながりますが、再来年のテーマは「福音宣教」ですので、福音宣教していくために、共通の福音とはなにか、この日本で福音を伝えていくとはどういうことか、いまだれが一番福音を必要としているかなど、一緒に考えられたらと思っています。

わたしたち京都教区は一つの共同体です。それぞれの小教区の共同体があり、ブロックの共同体があり、京都教区という一つの共同体があります。そして世界の教会も一つの共同体です。いろいろなレベルの共同体体験をする中で福音宣教ができたと思います。このアンケートは京都教区としての共通理解、共通認識をもつための大きな基礎になるでしょう。役員研修会・交流会で共通のものがあり、それを各小教区に持ち帰り、そこで新しいものがまた生み出されていきます。このアンケートは役員の皆さんが作ったものです。皆さんが作った信仰の証、皆さんがこの京都教区で生きている福音の証です。福音宣教とは喜びですから、だれかに言われてするのではなく、自分がいただいたすばらしいものや体験を他の人にも味わって幸せになってほしいということです。前向きに、喜びをもってやっていきましょう。

大塚司教のコメント

お忙しい中でも多くの役員の皆さんが参加してくださり、また三重県・京都北部など遠方からも参加してくださってうれしく思います。今回の事前アンケート、また役員交流会を通して、それぞれのブロックの共同宣教司牧に17年の重みとそれぞれの個性が見えました。さらに良いところは伸ばし、気づきを得て足りないところは工夫していくことができるよう、このような交流で気づき合いの機会を持つようになっていきたいと思っています。

今年初めてブロック訪問のかわりにブロック大会をお願いして参加していますが、それぞれよく準備、工夫されていて、ブロックがいまどのような雰囲気なのかもよくわかり、うれしく思っています。

福音宣教企画室の振り返り

モデラトルによる発表を通して各ブロックの司祭・司牧者の声を直接聞くことができたこと、またグループでの話し合いを通してさまざまな教会の話を聞くことによりヒントを得たり刺激を受け、充実した役員交流会となりました。交流会終了後のアンケートには、信徒の高齢化や外国籍の信徒とのかかわりについてテーマとして取り上げてほしいという声は以前から多くありましたが、今回は「若者への働きかけ」も多く挙がり、どれも来年の「共同体作り」に関係するテーマであるので、来年に向けて現場の声を反映した内容を検討していきたいと考えています。